

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)三国コ・コラホトリンギ新新潟物流センター 西区 善久字川中669番地-1他 準工業地域、その他: 事務所, 工場, 2013年5月 予定 40,322.99 m ² 13,072.62 m ² 15,390.07 m ² 地上3F S造 実施設計段階評価 2011年11月16日	
---	---	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{54}{34} = 1.5$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価アイコン	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.3		バリアフリー	3.0
			維持管理	4.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.2		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.4
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	5.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- ・光触媒タイルの採用や防錆対策による耐久性の向上や、運用面での維持管理に配慮しております。
- ・省水型機器の採用や、植栽への中水利用による節水への取り組みや、積極的なリサイクル材の採用により資源循環・地球環境に配慮しております。
- ・ビオトープの設置により生物環境の創出と地域景観への配慮を行います。

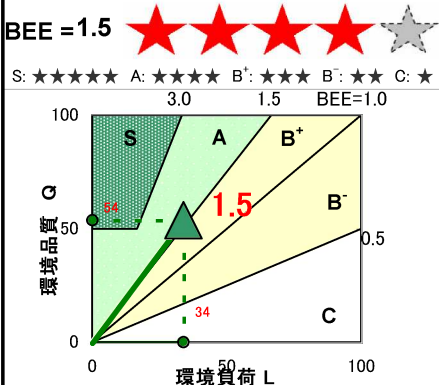
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

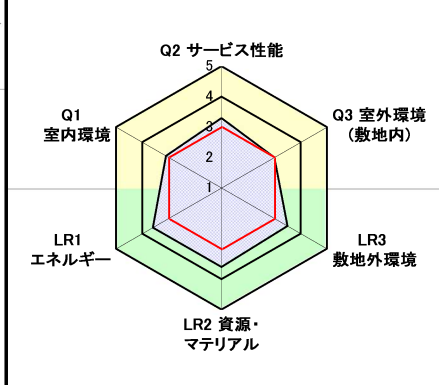
評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

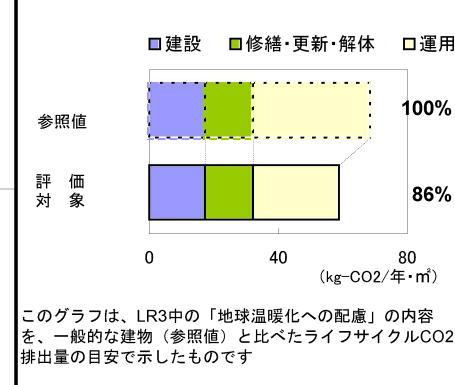
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



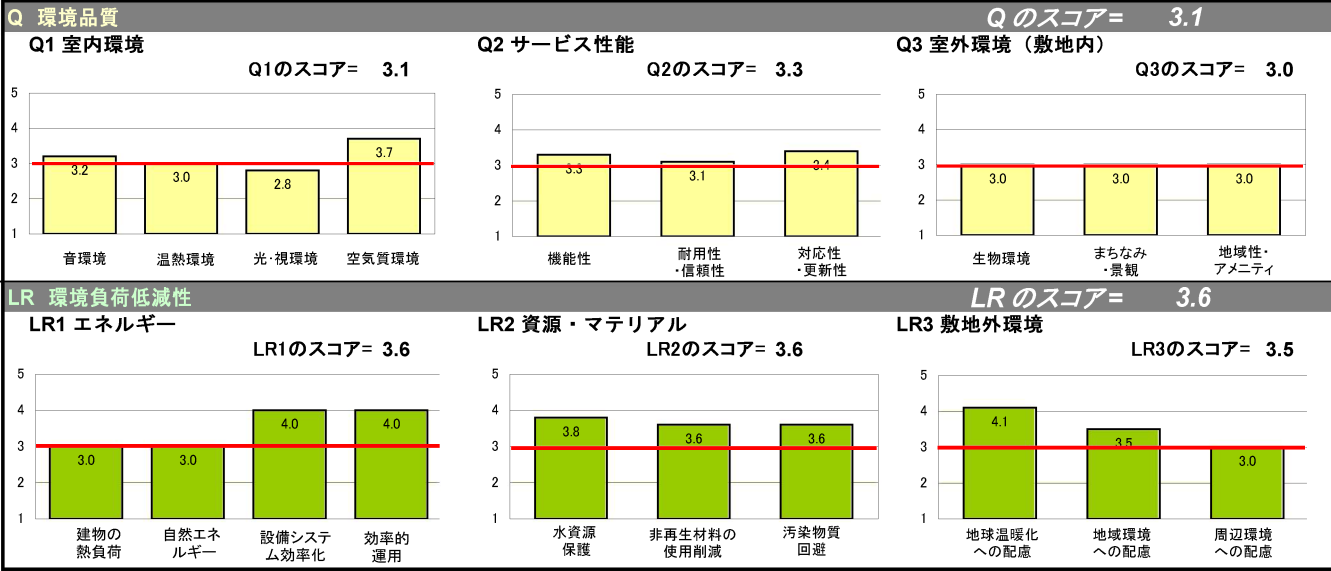
2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 建物の運用・維持・管理計画に配慮し、省エネ性能や環境性能との高度なバランスを確保いたします。	その他 40年来の既存敷地内の立て替え計画であり、既存建物の企業をイメージを良い意味で引き継ぎつつ、建物の性能とともに、緑地の充実化やビオトープの設置等、周辺への配慮による環境的レベルアップをはかります。
Q1 室内環境 空調・照明のゾーニングによる省エネ配慮、シックハウス対策等環境配慮を行います。また、分煙等の運用面での配慮いたします。	Q2 サービス性能 屋外の防錆や光触媒等の防汚対策、耐久性の高い配管材料の使用や、高所のメンテナンス対応等、維持管理性に配慮します。また、ゆとりのある天井高さやリフレッシュペースの設置等、居住面での性能配慮をいたします。
LR1 エネルギー LED照明の採用や人感センサーの採用等、設備システムの高効率化を図ると共に、モニタリングや長期維持管理計画により、運用・維持・管理の積極的な提案をいたします。	LR2 資源・マテリアル 省水型機器の選定等、省水に配慮します。また仕上げ材においては、リサイクル材を積極的に採用いたします。フロンガスによる環境影響に配慮します。
	LR3 敷地外環境 法規や条例に準じた対策を施すとともに、立地状況を考慮した日影に対する配慮を行います。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい